

## マコガレイ種苗を放流しました

マコガレイ(図1)は、茨城県沿岸における重要な漁獲対象資源です。主に、底曳網、はえ縄、固定式刺し網などの漁法で漁獲され、平成29年には約28トンの水揚げがありました。茨城県ではマコガレイを「栽培漁業対象種」と位置付け、平成29年度からは、30mmの種苗20万尾を年間目標として生産しています。水産試験場では、放流効果を明らかにするために以下のような放流試験を行っています。

### マコガレイの種苗生産について

マコガレイの種苗は、鹿嶋市にある茨城県栽培漁業センターで生産されています(図2)。平成29年度は平成30年1月から2月に人工授精を行い、4月下旬に平均全長36mmの種苗が40万8千尾生産され、目標を達成しました。



図1 マコガレイ成魚



図2 マコガレイ稚魚

### 放流について

平成29年度に生産した種苗は、平成30年4月24日～27日に常陸那珂港内の岸壁から放流しました(図3)。この場所は稚魚の成育に適した静穏域の砂泥底であるため放流場所を選定しました。

種苗は平均全長36mmと小さな個体のため、目印となる外部標識は付けることができません。そのため、頭の中にある耳石という器官に標識を付けてあります。

今後数年間は同じ場所で放流試験を行い、放流効果を検証していきます。

### 種苗の成長と追跡調査について

県内でマコガレイが最も多く漁獲されているのは、底曳網です。底曳網では全長22～45cmのマコガレイが漁獲されています(図4)。マコガレイは1年で15cm、2年で25cm、3年で30cm程に成長します。今年放流した種苗は2年後に25cm程に成長して底曳網で漁獲され始めますので、水産試験場ではこの頃のマコガレイに焦点をあてて、放流した種苗が漁獲加入してくるかを調べてまいります。今後ともマコガレイの調査にご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



図3 種苗放流の様子

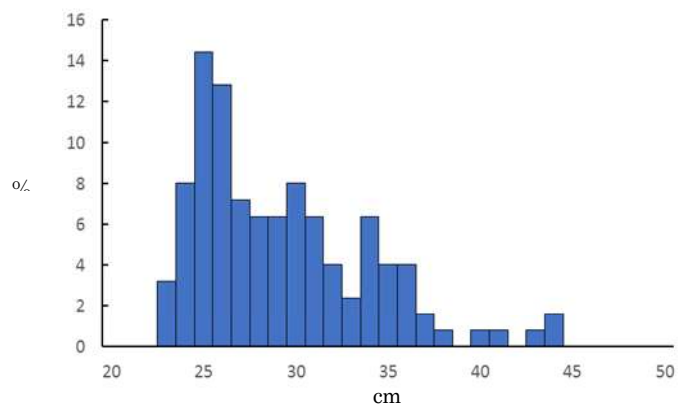


図4 那珂湊での底曳網漁獲物の体長組成図

(定着性資源部 百成 渉)

次回予告：平成30年5月29日の水産の窓は「夏休み！いばらき水産・海洋教室参加者募集中！」を予定しています。